

秋の実りをおそろ分け！

あさげ新聞

地域共生推進室 発行
【2021年10月/13号】
2021年11月2日発行

ご意見・質問は下記のメールまでとどんどお寄せ下さい。採用された方には旬の野菜をプレゼント！
mail ;
ta-hara@koaglobal.com



上の写真は、コシヒカリと白毛餅の新米になります。白の包装がコシヒカリで、今年初めてつくりました。一キログラム単位で小分け包装し、全社員三百三十五人へお配りしました。一キログラム（約六合）で僅かばかりですが、秋の実りを「賞味頂ければ幸いです」。

稲作事業 〈白毛餅米栽培〉

秋晴れの中、ハザ掛けした白毛餅の脱穀をしました。



1. 稲作事業
【白毛餅／コシヒカリ栽培】
・コシヒカリと白毛餅のハザ掛け米の脱穀
・JAコンバインによるコシヒカリの稲刈り
・社員向け新米の精米と包装
・畔の草刈り

2. 薬草事業
【センブリ栽培】
・小谷先生によるセンブリの収穫指導
・雑草除去と畔の草刈り

3. 園芸事業
【とうもろこし栽培】
・収穫後の茎の処理とトラクターによる耕起
・ゴールドラッシュ畑の草入れとトラクターによる耕起
【野菜栽培】
・玉ねぎ苗の畝立てと定植



4. 地域貢献
・ガルデン南水路の草刈り
・山際で草が長い間刈られず気になっていた新野クラインガルデン南側水路の草刈りをしました。

5. 薬細工事業
・福縄大口受注生産
・正月締の飾り販賣店デビュー

天候不順が続く、JAコンバインによるコシヒカリの稲刈りは、新野地区で最後になりました。



四反六畝の田んぼのうち、半分は湿田でぬかるんでおり、コンバインが沈んで動かなくなってしまうか心配していましたが、JAのコンバインの運転手は、新野の田んぼの事は良く知り尽くしており、ドロの中でも巧みな操作で無事終了しました。



収穫量は、三十六俵の玄米が獲れましたが、取れ高は計画の八割となりました。計画より少なかったのは、長雨による影響と思われる。



六畝の田んぼで収穫量は、十二袋のモミが獲れ、昨年とほぼ同じ獲れ高でした。今年も、稲刈り後の天気に恵まれ、葉がきれいに乾燥できたので、わら細工用に使えて幸いです。



薬草事業 〈センブリ栽培〉

十月六日に長野県製薬（株）小谷先生と中邑さんに来ていただき、今年播種したセンブリの葉枯れの状況確認と昨年播種したトフルにもめげず生き残った三百株のセンブリにて収穫方法の指導をして頂きました。

今年葉枯れしたセンブリに殺菌剤が効果があったことを実際に現場で見えて頂き、来年の栽培歴へ追記を検討頂くことになりました。



昨年のセンブリで二十パーセント以上開花したモノを実際に収穫、洗浄、乾燥し、洗浄後の外観品質と、出荷のポイントについて指導頂きました。



また、指導会には今年栽培を始めた旭松食品の方も参加されました。後日に旭松食品の方には、センブリ乾燥後の水分量を計測していただきました。

乾燥は、コテージの軒下で二週間行いました。重量が半分になり、水分量を計測したところ十一パーセントでした。基準値十二パーセント以下になったので、長野県製薬（株）へ成分測定を依頼しました。



園芸事業 〈とうもろこし栽培〉

今年、沢山のとうもろこしを収穫し残った茎をトラックで回収し、畑の南側にかたづけました。



そのあと、畑に感謝しつつ来年も「蔵」から沢山注文を頂けることを願いながら、トラクターで耕起しました。



野菜栽培 〈玉ねぎ〉

十月五日に玉ねぎ苗の定植に向け、畝立てとマルチ張りを行いました。



十月二十八日に千百本の苗を植え付けました。苗の入荷遅れでマルチを張ってから日数が経つため、マルチの穴から雑草が生えており。除草作業から始めました。



植付け後、ネグリミシ対策を講じました。

・サツマイモ
十月二十二日朝、あさげの里に霜がおりました。「蔵」より、至急収穫するように連絡があり、草刈りの手を止め皆で紅はるかの芋掘りを行いました。



芋掘りはむずかしく、芋の根の延び方は自由で実の付き方も不規則なため、予測がつかないところに芋があり、いくつかさコップで傷つけてしまいました。成果はコンテナに十三箱で、「蔵」に納品しました。



薬細工事業 〈お正月締め飾り〉

大阪の阪急百貨店梅田店に薬工房オリジナルのお正月締め飾りがデビューします。締め縄はもちろん、水引細工も薬工房のメンバーの作品です。



また、今年も社員向けにお正月締め飾りの注文をとりまので、ご利用ください。

おせんしょ市場

秋に種蒔きをした野菜（白菜、大根、キャベツ、ブロッコリー、キヌワリ、レタス、野沢菜、小松菜、チンゲン菜、水菜）は順調に成長しています。十一月より、おせんしょ市場へ提供して参りますので、ご利用ください。

